

ふるさと沼津第一



沼津釐校区の 歴史探索

平成30年3月15日 第9号

発行：第一地区コミュニティ推進委員会



この会報誌は第一地区の歴史発見事業の一環です

近代的小学校から映画館まで

歴史と文化が華咲く上本通り町

この通りの西は片端といわれ、沼津藩の家臣の屋敷があったところでした。水野城主時代の沼津城の外堀が明治22年以後に埋め立てられ、道となりました。

現代の上本通りと添地との境の小通りは水野城主時代からの道です。そこから西の地域に長屋形式の藩侍住居があり、その一角（添地35番長屋）に、沼津に移住した旧幕臣により、明治元年9月12日「代戲館（だいきかん）」が創始されました。長屋を校舎とし、教室は莫蔭をしき、戸板に墨を塗り黒板とした粗末なものでした。その後10月に片端5番、6番小呂に移り、12月8日に沼津城内の沼津兵学校付属小学

校に引き継がれました。この時の兵学校頭取は西周（にし・あまね）でした。生徒は士族、庶民の子弟であり、算術・地理・体操・乗馬・水泳・英語・仏語などを学ぶことができました。こうした近代的な教育が実施されたことから、この地を日本最初の近代的小学校発祥の地であると誇ることができます。その後何回か校名を変えながら現在の沼津市立第一小学校に発展しています。

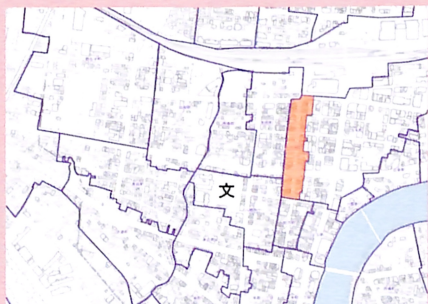
時代は下り、戦後は大衆的な娯楽として人気のあった映画館などの劇場や飲食店や遊郭が並んでいる娯楽、盛り場的な通りになりました。

写真：上から第一、文化、宝塚、東海劇場。（上本通り町 長谷川さん提供）



町名の由来を尋ねる

～上本通り町～



大正二年の大火の後に行われた区画整理で、南の本通りが町方町を貫通して北の片端の道路に接続し、片端から上本通りと称されました。昭和七年に道路沿いの地域を、町方の本通りの上なので上本通り町と称し、町名となりました。現在は、自治会名と商店街名に上本通りの名前が残されています。

このコラムは、静岡新聞社発行の「町名の由来」などを参考に作成したものです。

わたしの思い出

あの時のこと

このまちは、この人に聞け！

このコーナーでは小学校の思い出や空襲後焼け野原となったまちが、復興を遂げていくさまなどを、まちの「重鎮」にお聞きします。

○戦後の第一小学校の様子や終戦後の町の様子などを教えて下さい。

（植松）戦後すぐは、物が無い時代だった。教科書を作るために、各家から新聞紙などの古紙を供出してね。先生がガリ版で教材を作ったり。あと教室が足りなかった。なんと午前と午後の二部制だったんだ。お昼になると入れ替わってました。

（一同）当時「どんま」という遊びをやっていましたね。今では危険な遊びでしょうが、よくやっていました。運動会でも、棒倒しや組体操、騎馬戦なんかがあつて激しかった。

（鈴木）上本通りにはイチヨウの木があつて、よく繁ったところには、それに登って秘密基地みたいにしていたよ。

（荒井）町内には東京浅草「宮本」の立派な神輿があり、これは当時の自治会長の大谷さんが寄付してくれたもの。大人神輿と子供神輿があつて、人が大勢いたから、それを町内の人だけで担いで回ったね。その神輿は、当時上本通りに映画館が多くあつたこともあり、映画の撮影で何回か使ったね。



上本通り町の思い出話に花が咲きました。左から自治会長の荒井さん、植松伸秋さん（79歳）、鈴木日出丸さん（80歳）、長谷川徹さん（72歳）

（鈴木）御殿場の進駐軍が娯楽を求めて来ていた。上本通りは何とこういうか良い意味で、街場のプライドというようなものがあつて誇らしかったね。



▲青空教室だった第一小学校（昭和20年頃）



お宝写真コーナー

丹沢楽器店前にて。チャンバラで遊んでいる子ども。当時は大勢の子どもがいました。

（写真：鈴木さん提供）



▲左：大正12年片端の松屋醤油製造元（戦後加藤運動具店）中：昭和一桁頃の岡藤硝子店辺り 右：昭和21年上本通り（岳南デパートから）（いずれも上本通り町 長谷川さん提供）

求ム！ まちのお宝

昔の写真や資料の情報をお寄せ下さい

平成30年に第一小学校が創立150周年を迎えることを記念して、第一地区コミュニティ推進委員会では、歴史再発見事業を行っています。現在、第一地区の歴史年表、主要な歴史的ポイントを記したまちあるきマップ、そして各町内会の歴史についての広報誌を作成しています。

引き続きいろいろな資料を集めておりますので、ぜひ皆様のご協力をお願いします。

みなさんのお宅に眠っている昔のまちなみの写真や懐かしい道具がありましたら、お知らせください。

